2

ゲラ大阪へ

日輪（113）

丹羽文雄作
宮田重雄画

女

落花の如し

その十

——佐恵子は彼女に残つてゐた最大財産の指輪を失つたが、それから三日程して、やつと探してゐた新しい職業を見付けることが出来た。

ある朝、園アパアトメントの未亡人事務員は言つてくれたのだつた。